

製品名: リン酸化 PAK1/2/3 (Ser144/Ser141/Ser154) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe02397

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 62 kDa; Observed MW: 62 kDa

抗原情報

遺伝子名	PAK3
別名	PAK3; OPHN3; Serine/threonine-protein kinase PAK 3; Beta-PAK; Oligophrenin-3; p21-activated kinase 3; PAK-3
遺伝子 ID	5063
SwissProt ID	O75914
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

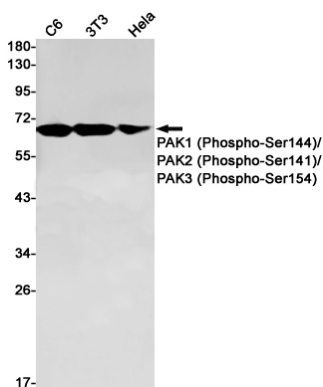
背景

PAKタンパク質は、Rho GTPaseを細胞骨格再構成および核シグナル伝達に結びつける重要なエフェクターです。PAKタンパク質は、低分子GTP結合タンパク質であるCdc42およびRACの標的として機能し、幅広い生物学的活性に関与していることが示唆されています。PAK3は、GTP結合RAS様タンパク質(P21)、CDC2、およびRAC1と活性化複合体を形成し、様々な標的を触媒します。

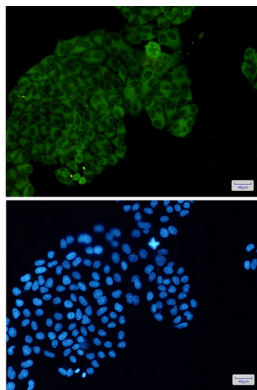
研究分野

神経科学

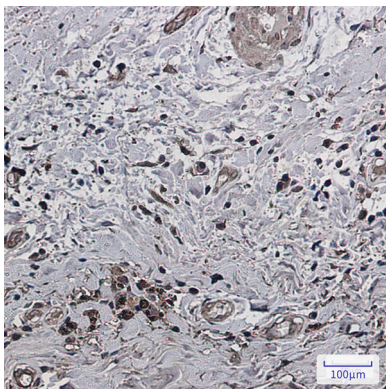
画像データ



Phospho-PAK1/2/3 (Ser144/Ser141/Ser154)抗体を使用した、C6、3T3、HeLa溶解物中のPAK1 (Phospho-Ser144)/PAK2 (Phospho-Ser141)/PAK3 (Phospho-Ser154)のウエスタンブロット分析。



HeLaにおけるPAK1 (リン酸化Ser144) /PAK2 (リン酸化Ser141) /PAK3 (リン酸化Ser154) (緑)の免疫細胞化学分析 (PAK1 (リン酸化Ser144) /PAK2 (リン酸化Ser141) /PAK3 (リン酸化Ser154)抗体およびDAPI (青)を使用)



リン酸化PAK1(Ser144)/2(Ser141)/3(Ser154)抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高压高温クエン酸ナトリウムpH 6.0を使用した。